

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	ロボット・プロジェクトⅢ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	後期	教室名	302教室
担 当 教 員	白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
卒業制作や学外実務研修、ロボットプロジェクトのⅠ及びⅡと連携しながら、提携先等の課題やそこから派生した卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用した文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
ロボットプロジェクトは、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考、制作物の作成ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第2回	講義 授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考、制作物の作成ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第3回	講義 授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考、制作物の作成ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第4回	講義 授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考、制作物の作成ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第5回	講義 授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考、制作物の作成ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	ロボット・プロジェクトⅢ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	後期	教室名	302教室
担 当 教 員	白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
卒業制作や学外実務研修、ロボットプロジェクトのⅠ及びⅡと連携しながら、提携先等の課題やそこから派生した卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用した文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
ロボットプロジェクトは、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考、制作物の作成ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談して指導を行う。				
第17回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマについての確にプレゼンテーション及びディスカッションができる。		パワーポイント	報告会用発表準備	
	各コマにおける授業予定	学科内報告会				
第18回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマについての確にプレゼンテーション及びディスカッションができる。		パワーポイント	報告会用発表準備	
	各コマにおける授業予定	学科内報告会				
第19回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談して指導を行う。				
第20回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備して指導を行う。				

